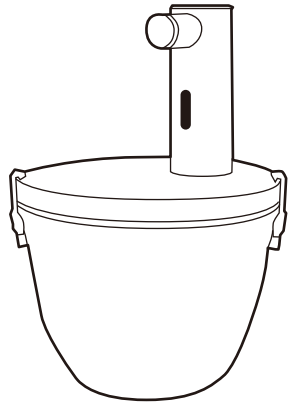


取扱説明書

型番:PTDLDICWH



保証期間: 購入日より6ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

●安全上のご注意

必ずお守りください

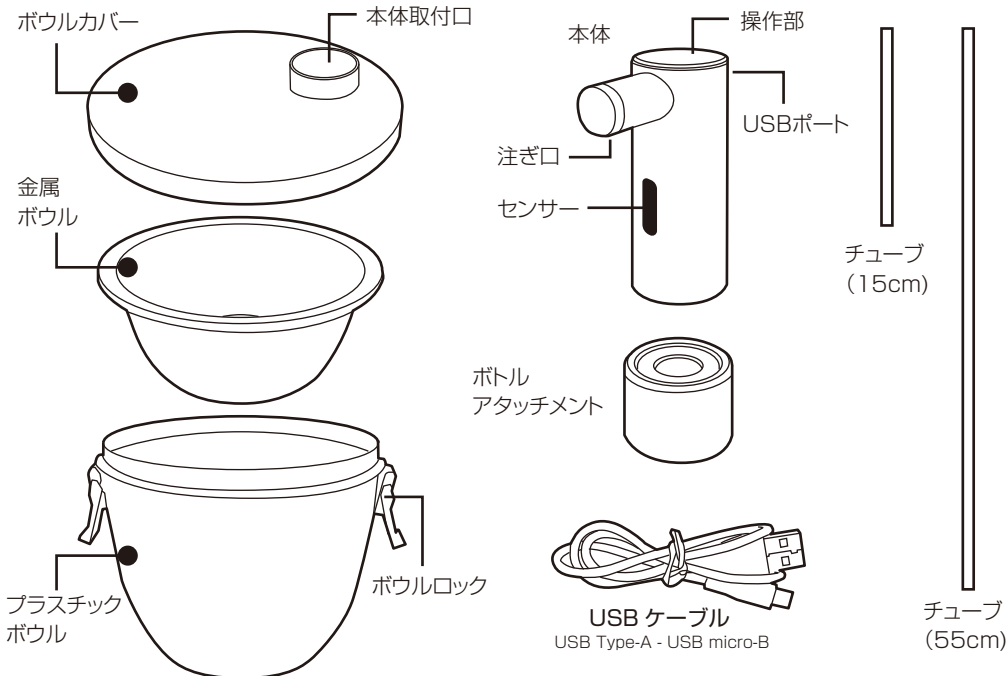
ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。
この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。

禁止 してはいけない「禁止」内容のものです。
指示 必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 改造しない。修理技術者以外の人とは分解・修理しない。(火災・感電・怪我のおそれ)
- 揮発性溶剤（灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど）や苛性ソーダでお手入れに使用しない。(故障の原因)
- 本体、充電ポートに水をかけない。(発火・火災・感電の原因)
- 製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- 屋外で使用しない。(漏電・感電の原因)
- 製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・怪我などの原因。
・USBケーブルがふくれるなど、変形、変色、損傷している・USBケーブルがいつもより熱い・USBケーブルを動かすと通電したりしなかったりする・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする・本体が動作しない など上記のような場合は、すぐに使用を中止し、USBケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。
- 熱器具に乗せたり、熱器具を周辺に置かない。(火災の原因)
- めれた手でケーブルの抜き差しをしない。(感電・ショートのおそれ)
- ケーブルを傷つけない。無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない、重いものをのせない・熱いものにちかづけない・はさみこまない・加工しない・束ねたまま使用しない。(火災・感電のおそれ)

●セット内容・各部名称



△注意

この警告に従わずに、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ボウルカバーを開けたままにしない。(雑菌の繁殖による健康障害の原因)
- 丈夫で平らな場所で使用する。(転倒・怪我の原因)
- 本体の上ののぼったり、重い物を置いたりしない。(水漏れ・故障の原因)
- 使用中はベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物を近づけない。(火災の原因)
- 本体の中で異物が動く音がするときは使わない。(感電・発火・怪我のおそれ)
- 落としたり強い衝撃を与えない。(破損・故障の原因)
- 使用中に移動させない。(水漏れ・故障の原因)
- 本体を水につけたりかけたりしない。(故障の原因)
- 本体すき間にピンや針金等異物を入れない。(故障の原因)
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車中など高温高湿になる場所で使用保存しない。(故障の原因)
- ポウルの最大容量を超える量の水・飲料を入れない。(汚れの原因)

●内蔵バッテリーについて

充電は使用直前か前日くらいに

- 内蔵バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前または前日頃に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が10℃～30℃(人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください。
- 温度が低くなるほど充電しにくくなり、バッテリーを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
- 充電中や使用中、バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 保管するときは約50%充電状態で保管してください。バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。保管の際は次のように保管してください。充電ケーブルを差し、使い切った状態から1時間程度充電してケーブルをはずしてください。
- 涼しい場所で保存してください。
- 高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につながったままの状態)状態での保存はしないで下さい。
- ・半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。
- ・10℃～35℃の乾燥した場所で保管してください。
- ・充電可能回数は約300回です。

USBプラグ、コード類について

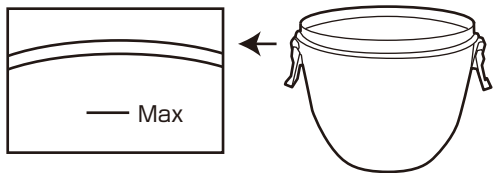
- USBプラグやUSBケーブルを交換したり、傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。
 - 傷んだUSBプラグやUSBケーブルは絶対に交換、分解、修理、改造をしない。
 - USBプラグやUSBケーブルが破損した場合は直ちに使用を中止する。
 - USBプラグは根元まで確実に差し込み、傷んだUSBプラグやUSBケーブルは使わない。
 - ぬれた手でUSBプラグを抜き差ししない。
 - 使用時以外はUSBプラグを差したままにしない。
 - 持ち運び時や収納時にUSBケーブルを引っ張らない。
 - USBケーブルを機器にはさまない、USBケーブルを引っ張ったまま使用しない。
 - 本体、USBプラグにほこりが溜まっていないか定期的に点検する。
 - USBプラグ、USBケーブルの差しこみがゆるい時は使用しない。
 - 使用中USBケーブルの上に物をのせない。
 - USBプラグの抜き差しは、先端をもって行い、USBケーブルは引っ張らない。
- ※使用中USBプラグやUSBケーブルが異常に熱くなったり煙や異臭が出るようなときは直ちに使用を中止してください。

●充電方法

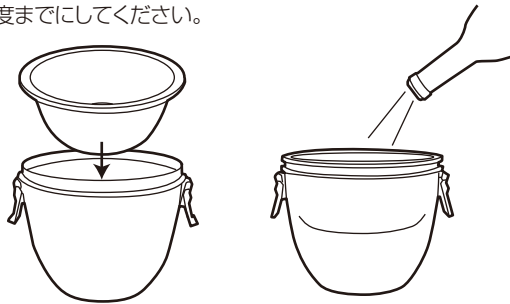
- ①本体のUSBポートのカバーを外し、付属のUSBケーブルを差し込みます。端子の向きに注意してください。
- ②USBケーブル端子をUSB-ACアダプタやモバイルバッテリーに繋ぎます。※USB-ACアダプタ、モバイルバッテリーは別途ご用意ください。※5V 1A以上を推奨します。※充電しながら動かすこともできます。
- ③充電中はLEDランプ2個が青に点滅します。満充電になるとLEDランプが点灯に変わりますので、ケーブルを抜いてください。
- ④必ずカバーをしっかりと取り付けてから使用してください。

● 準備

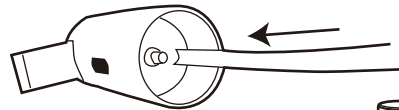
①飲み物を冷やす、もしくは温める場合は、プラスチックボウルに氷水やお湯を注ぎます。プラスチックボウル内側にあるMax以上は入れないでください。



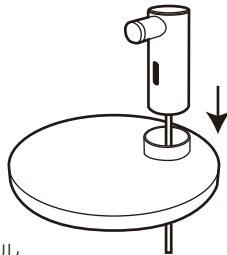
②プラスチックボウルの上に金属ボウルを入れて、液体を注ぎます。※チューブを差し込むため、金属ボウル満杯まで入れるとあふれます。金属ボウルの最大9割程度までにしてください。



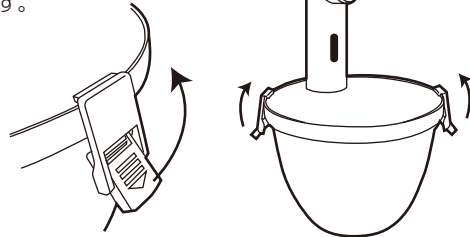
③本体底面にチューブ(15cm)を差し込みます。先が切れている方を奥までしっかり差し込んでください。



④ボウルカバーの本体差込口に、本体を差し込んで固定します。



⑤プラスチックボウルにボウルカバーをかぶせ、ロックをかけます。



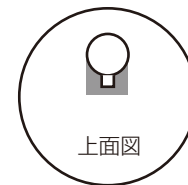
● 使用可能な液体について

水・酒のような液体、食用油や液体せっけん等でも使用可能ですが、使用後は必ずチューブ内、本体内を洗浄してください。放置しておくると詰まる可能性があります。

また炭酸ジュースなどの気泡が発生しやすい液体を使用した場合は、完全密閉容器ではないため、仕様により注ぎ口から液体が垂れることがありますので、ご注意ください。

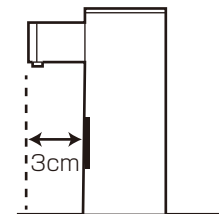
● センサー範囲

本体のセンサーが感知する範囲は以下になります。



幅はほぼ本体サイズ程度

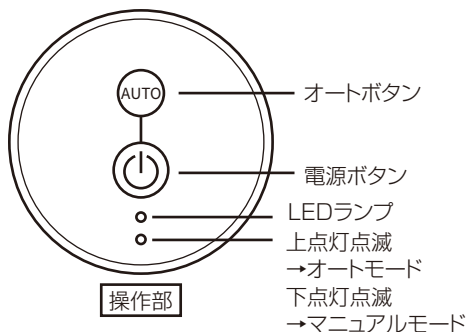
側面図



センサーから3cm以内の距離

● 使い方(マニュアルモード)

操作部はタッチセンサー式です。強く押しすぎず、指の腹でかたくタッチしてください。



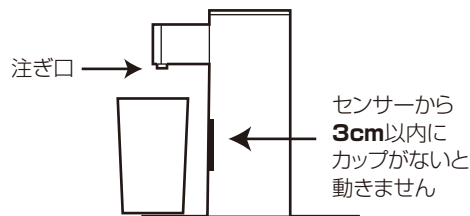
①液体を注ぐカップを用意します。カップの大きさには制限があります。下記を参考にしてください。



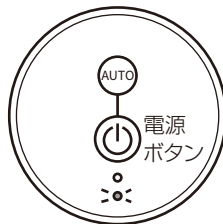
②電源ボタンを3秒ほど長押しします。ピピピと音がなり下のLEDランプが青に点滅します。

◆マニュアルモード

電源を入れた直後は【マニュアルモード】になります。ボタンを押すことでカップに注ぎます。①電源が入っている状態で、カップを注ぎ口の下に置きます。※**センサー前にカップが無いと動きません。**



②電源ボタンをタッチすると液体がカップに注がれます。再度電源ボタンをタッチすると停止します。動作中はLEDランプの下が青く点灯します。



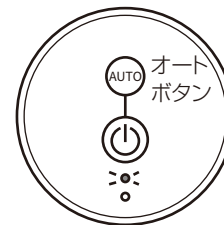
③電源ボタンを3秒ほど長押しすると電源が切れます。※自動で電源オフにはなりません。

● 使い方(オートモード)

◆オートモード

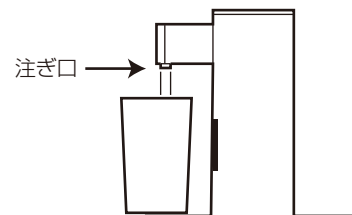
オートモードでは本体の前にカップを置くと自動的に定量を注ぎます。

①電源が入っている状態で、オートボタンを1回タッチします。ピッと音が鳴りLEDランプの下が消え、上が青点滅します。



②1回に注ぐ液体量を設定します。オートボタンを素早く2回タッチしてください。LEDランプ下の点滅が早くなります。

③素早く点滅している状態で、オートボタンを1回タッチすると液体が注がれます。

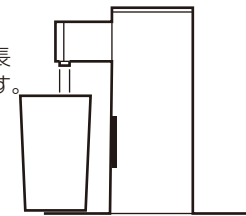


④好みの量が注がれたら、オートボタンを1回タッチします。動作が止まります。※オートボタンで液体を注ぐことを止めない場合、約3分で動作が自動的に止まりますが、液体がこぼれるなど周囲が汚れる可能性があります。必ずオートボタンをタッチして動作をとめてください。



⑤次回からカップを置くと、自動的に設定した量の液体がカップに注がれます。電源オフ後もオートモードにすると、前回設定した量をカップに注ぎます。注ぐ量を変えたい場合は、手順②~④をおこなってください。

⑥電源ボタンを3秒ほど長押しすると電源が切れます。

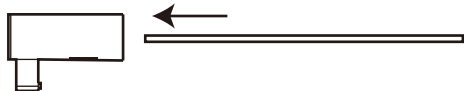


● 本体を液体容器に取り付けて使用する

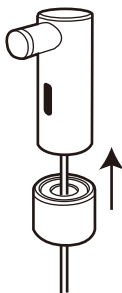
本体をボトルに直接取り付けて使用することもできます。食用油などの多少粘度がある液体でも使用することができます。

※ボトルに液体が上まで入っている状態で本体を取り付けた場合、中身があふれる可能性があります。液体が多い場合は少し減らしてから差し込んでください。

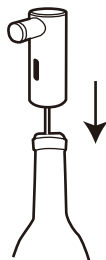
①本体に長い方のチューブ(55cm)を差し込みます。



②ボトルの口が～約3cmぐらいの場合は、本体にボトルアタッチメントを差し込みます。～約4cmの場合は、アタッチメントを使わずに本体を差し込んでください。



③本体をボトルなどに取り付けます。基本的に本体が取り付けられた状態で問題なく使用可能ですが、かなりグラグラと不安定な場合は使用を控えてください。液体がこぼれる可能性があります。



④取り付け後の動作は使い方(オートモード)使い方(マニュアルモード)を参照してください。

● 仕様

サイズ	直径194×高さ270(mm)
重さ	500g
付属品	本体、金属ボウル、プラスチックボウル、ボウルカバー、ボトルアタッチメント、USBケーブル、チューブ(15cm/55cm) 日本語説明書
電源	5V 1A
バッテリー	リチウムイオン 500mAh/3.7V
充電時間	約2時間半
連続稼働時間	約20時間
ケーブル長	50cm
USB端子	USB Type-A - USB micro-B
耐熱温度	本体:約50度 プラスチックボウル:約100度
金属ボウル容量	最大900ml
素材	ABS/ステンレス
保証期間	購入日より6か月

※内容品に記載している以外のものは付属しません。※本製品をご利用において生じる物品の破損は、保証の対象外となります。※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

● 故障かな?と思ったら

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jp に空メールをお送りください。自動返信でご案内いたします。

※自動返信が来ない場合
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上ご送付ください。

QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1
EL 内 サンコーサポート宛
TEL 03-3526-4328
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)
お問い合わせメールアドレス :support@thanko.jp

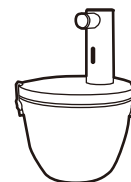
● お手入れ

ご使用後は、必ず以下の作業を行い、内部に残った液体を排出してください。残ったままにしておくと雑菌が繁殖したり、詰まる可能性があります。

①プラスチックボウル、金属ボウルをよく洗い、金属ボウルに水を入れます。



②本体を取り付けます。



③大き目のコップなどを用意し、電源を入れます。



④電源ボタンをタッチして水を出します。出てくる液体が透明になるまで繰り返してください。



金属ボウル、プラスチックボウル、ボウルカバー、チューブ、ボトルアタッチメントは丸洗いが可能です。やわらかいスポンジに食器用洗剤をつけて洗い、その後しっかりと乾燥させてください。

- ベンジンやシンナー、漂白剤、みがき粉、アルカリ性洗剤は使わないでください。(表面を傷つける原因)
- 洗剤は食器用洗剤(中性)を使ってください。(表面を傷つける原因)
- スポンジなどのやわらかいもので洗い、たわし、ナイロンたわし、金属たわしは使わないでください。(表面を傷つける原因)

本体は汚れが目立つ場合は、よくしぼった布でふいてください。
絶対にUSBポートを濡らさないでください。

● 電池のリサイクルについて



Li-ion

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。